

令和6年度長野県商圏調査報告書（概要） 正誤表

該当箇所	誤	正
1 ページ 8 行目	上位 7 市で、全商圏人口（ <u>4,076</u> 千人）の <u>54.6%</u> を占めている。	上位 7 市で、全商圏人口（ <u>4,021</u> 千人）の <u>55.3%</u> を占めている。
1 ページ 表 1	「旧更埴市（千曲市）」 <u>13</u> 位、商圏人口合計 <u>112,892</u> 、二次商圏人口 <u>77,229</u> 、増減率 <u>78.1</u> 、商圏構成市町村数における市町村数 <u>10</u> 、増減 <u>4</u>	「旧更埴市（千曲市）」 <u>15</u> 位、商圏人口合計 <u>59,923</u> 、二次商圏人口 <u>24,260</u> 、増減率 <u>-5.5</u> 、商圏構成市町村数における市町村数 <u>4</u> 、増減 <u>-2</u>
	「塩尻市（合併前）」 <u>14</u> 位、「須坂市」 <u>15</u> 位	「塩尻市（合併前）」 <u>13</u> 位、「須坂市」 <u>14</u> 位
2 ページ 表 2	「旧更埴市（千曲市）」 <u>13</u> 位、令和 6 年度商圏人口 <u>112,892</u> 、増減率 <u>78.1</u>	「旧更埴市（千曲市）」 <u>15</u> 位、令和 6 年度商圏人口 <u>59,923</u> 、増減率 <u>-5.5</u>
	「塩尻市（合併前）」 <u>14</u> 位、「須坂市」 <u>15</u> 位	「塩尻市（合併前）」 <u>13</u> 位、「須坂市」 <u>14</u> 位
2 ページ 1 行目	県内上位 25 市町村の商圏人口と前回調査を比べると、 <u>2</u> 市 1 町で商圏人口が増加、 <u>15</u> 市 5 町 2 村で商圏人口が減少している。特に、 <u>3</u> 市 1 町 1 村では、10%以上の増減がみられた（表 2）。	県内上位 25 市町村の商圏人口と前回調査を比べると、 <u>1</u> 市 1 町で商圏人口が増加、 <u>16</u> 市 5 町 2 村で商圏人口が減少している。特に、 <u>2</u> 市 1 町 1 村では、10%以上の増減がみられた（表 2）。
2 ページ 4 行目	<u>最も増加率が高い旧更埴市（千曲市）では、前回調査で商圏となっていなかった大町市（合併前）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 23.7%とするなど、商圏として 1 市 1 町 4 村を増やし、商圏人口が約 5 万人増加した。</u> 次に増加率が高い旧豊科町（安曇野市）では、前回調査で商圏となっていなかった旧安曇村（松本市）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 5.2%、白馬村（吸引率 4.8%）からの吸引率を 5.3%とし、商圏人口が約 7 千人増加した。 また 3 番目に増加率が高い松本市（合併前）では、旧高遠町（伊那市）（吸引率 1.5%）からの吸引率を 5.2%とするなど、1 町 3 村を商圏に加えたことにより、商圏人口が約 1 万 7 千人増加した。	<u>（削除）</u> 最も増加率が高い旧豊科町（安曇野市）では、前回調査で商圏となっていなかった旧安曇村（松本市）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 5.2%、白馬村（吸引率 4.8%）からの吸引率を 5.3%とし、商圏人口が約 7 千人増加した。 次に、増加率が高い松本市（合併前）では、旧高遠町（伊那市）（吸引率 1.5%）からの吸引率を 5.2%とするなど、1 町 3 村を商圏に加えたことにより、商圏人口が約 1 万 7 千人増加した。
3 ページ 図 1	長野県の商圏構造（概念図）内における旧更埴市（千曲市）の円のサイズ：商圏人口 <u>112,892</u>	長野県の商圏構造（概念図）内における旧更埴市（千曲市）の円のサイズ：商圏人口 <u>59,923</u> に縮小
4 ページ 6 行目	また、3 番目に減少率が高い旧臼田町（佐久市）では、前回商圏であった小海町 3.5%（前回吸引率 11.7%）、南牧村 3.4%（前回吸引率 6.0%）、南相木村 0.0%（前回吸引率 19.3%）が商圏外となったことから、商圏人口が約 9 千人減少した。	また、3 番目に減少率が高い大町市（合併前）では、前回商圏であった松川村 4.7%（前回吸引率 8.8%）が商圏外となったことから、商圏人口が約 1 万 1 千人減少した。
4 ページ	減少率が最も高い大町市（合併前）の流出状況をみると、旧更	減少率が最も高い大町市（合併前）の流出状況をみると、無店

令和6年度長野県商圈調査報告書（概要） 正誤表

該当箇所	誤	正																																																																																
13 行目	埴市（千曲市）への流出率が 23.7%（前回調査 <u>0.0%</u> ）と前回よりも増加している。	舗販売への流出率が 23.7%（前回調査 <u>17.1%</u> ）と前回よりも増加している。																																																																																
4 ページ 16 行目	<u>55</u> 町村で減少がみられる。このうち、 <u>26</u> 町村は、前回調査に引き続きの減少となっている。	<u>53</u> 町村で減少がみられる。このうち、 <u>25</u> 町村は、前回調査に引き続きの減少となっている。																																																																																
4 ページ 19 行目	前回同様、過去最少の <u>2</u> 町となった（図 2）。	前回よりも <u>1</u> 村増え、 <u>3</u> 町村となった（図 2）。																																																																																
5 ページ 表 3	<table><tr><th>順位</th><th>市町村名</th><th>令和 6 年</th><th>増減</th><th>令和 3 年増減</th></tr><tr><td>5</td><td>佐久市（合併前）</td><td>81.5</td><td><u>-2.7</u></td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>駒ヶ根市</td><td>54.4</td><td><u>-6.2</u></td><td></td></tr><tr><td>12</td><td>旧穂高町（安曇野市）</td><td>52.2</td><td><u>-0.2</u></td><td></td></tr><tr><td>18</td><td>塩尻市（合併前）</td><td></td><td></td><td><u>-4.2</u></td></tr><tr><td>23</td><td>軽井沢町</td><td>28.9</td><td><u>-4.8</u></td><td></td></tr><tr><td>25</td><td>富士見町</td><td>27.3</td><td><u>-2.1</u></td><td></td></tr><tr><td>29</td><td>旧堀金村（安曇野市）</td><td>23.4</td><td><u>2.5</u></td><td><u>-5.9</u></td></tr></table>	順位	市町村名	令和 6 年	増減	令和 3 年増減	5	佐久市（合併前）	81.5	<u>-2.7</u>		10	駒ヶ根市	54.4	<u>-6.2</u>		12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	<u>-0.2</u>		18	塩尻市（合併前）			<u>-4.2</u>	23	軽井沢町	28.9	<u>-4.8</u>		25	富士見町	27.3	<u>-2.1</u>		29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	<u>2.5</u>	<u>-5.9</u>	<table><tr><th>順位</th><th>市町村名</th><th>令和 6 年</th><th>増減</th><th>令和 3 年増減</th></tr><tr><td>5</td><td>佐久市（合併前）</td><td>81.5</td><td><u>-2.6</u></td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>駒ヶ根市</td><td>54.4</td><td><u>-6.3</u></td><td></td></tr><tr><td>12</td><td>旧穂高町（安曇野市）</td><td>52.2</td><td><u>-0.3</u></td><td></td></tr><tr><td>18</td><td>塩尻市（合併前）</td><td></td><td></td><td><u>-4.3</u></td></tr><tr><td>23</td><td>軽井沢町</td><td>28.9</td><td><u>-4.9</u></td><td></td></tr><tr><td>25</td><td>富士見町</td><td>27.3</td><td><u>-2.2</u></td><td></td></tr><tr><td>29</td><td>旧堀金村（安曇野市）</td><td>23.4</td><td><u>2.4</u></td><td><u>-5.8</u></td></tr></table>	順位	市町村名	令和 6 年	増減	令和 3 年増減	5	佐久市（合併前）	81.5	<u>-2.6</u>		10	駒ヶ根市	54.4	<u>-6.3</u>		12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	<u>-0.3</u>		18	塩尻市（合併前）			<u>-4.3</u>	23	軽井沢町	28.9	<u>-4.9</u>		25	富士見町	27.3	<u>-2.2</u>		29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	<u>2.4</u>	<u>-5.8</u>
順位	市町村名	令和 6 年	増減	令和 3 年増減																																																																														
5	佐久市（合併前）	81.5	<u>-2.7</u>																																																																															
10	駒ヶ根市	54.4	<u>-6.2</u>																																																																															
12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	<u>-0.2</u>																																																																															
18	塩尻市（合併前）			<u>-4.2</u>																																																																														
23	軽井沢町	28.9	<u>-4.8</u>																																																																															
25	富士見町	27.3	<u>-2.1</u>																																																																															
29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	<u>2.5</u>	<u>-5.9</u>																																																																														
順位	市町村名	令和 6 年	増減	令和 3 年増減																																																																														
5	佐久市（合併前）	81.5	<u>-2.6</u>																																																																															
10	駒ヶ根市	54.4	<u>-6.3</u>																																																																															
12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	<u>-0.3</u>																																																																															
18	塩尻市（合併前）			<u>-4.3</u>																																																																														
23	軽井沢町	28.9	<u>-4.9</u>																																																																															
25	富士見町	27.3	<u>-2.2</u>																																																																															
29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	<u>2.4</u>	<u>-5.8</u>																																																																														
5 ページ 図 2	「30%以上 50%未満」令和 6 年度「 <u>2</u> 」 「50%以上 70%未満」令和 6 年度「 <u>3</u> 」	「30%以上 50%未満」令和 6 年度「 <u>3</u> 」 「50%以上 70%未満」令和 6 年度「 <u>2</u> 」																																																																																
6 ページ 9 行目	前回と比べると、市部では、旧更埴市（千曲市） <u>(90.7%)</u> で <u>24.2</u> ポイント増加した。	前回と比べると、市部では、増加した市が無かった。																																																																																
6 ページ 14 行目	塩尻市（合併前）（46.0%）で 7.3 ポイント、上田市（合併前） <u>(129.4%)</u> で 8.1 ポイント、	塩尻市（合併前）（46.0%）で 7.3 ポイント、上田市（合併前） <u>(129.6%)</u> で <u>7.9</u> ポイント、旧更埴市（千曲市） <u>(58.4%)</u> で 8.1 ポイント、																																																																																
6 ページ 17 行目	17 市中、吸引力を高めたのは <u>1 市</u> となり、 <u>16 市</u> において集客力が低下しているといえる。	17 市 <u>全てにおいて</u> 集客力が低下しているといえる。																																																																																
7 ページ 表 5	表 5 市町村別 <u>吸引係数</u> （上位 30 位）《全品目平均》の推移	表 5 市町村別 <u>吸引力係数</u> （上位 30 位）《全品目平均》の推移																																																																																
	「上田市（合併前）」令和 6 年吸引力係数 <u>129.4</u> 増減 <u>-8.1</u>	「上田市（合併前）」令和 6 年吸引力係数 <u>129.6</u> 増減 <u>-7.9</u>																																																																																
	「旧更埴市（千曲市）」 <u>12</u> 位、令和 6 年吸引力係数 <u>90.7</u> 、増減 <u>24.2</u>	「旧更埴市（千曲市）」 <u>18</u> 位、令和 6 年吸引力係数 <u>58.4</u> 、増減 <u>-8.1</u>																																																																																
	「駒ヶ根市」 <u>13</u> 位、「飯山市」 <u>14</u> 位、「山形村」 <u>15</u> 位、「茅野市」 <u>16</u> 位、「旧木曽福島町（木曽町）」 <u>17</u> 位、「箕輪町」 <u>18</u> 位	「駒ヶ根市」 <u>12</u> 位、「飯山市」 <u>13</u> 位、「山形村」 <u>14</u> 位、「茅野市」 <u>15</u> 位、「旧木曽福島町（木曽町）」 <u>16</u> 位、「箕輪町」 <u>17</u> 位																																																																																

令和6年度長野県商圈調査報告書（概要） 正誤表

該当箇所	誤	正
8 ページ 1 行目	4 商圈変動の類型 ～ <u>縮小商圈が約6割</u> を占める	4 商圈変動の類型 ～ <u>縮小商圈が約8割</u> を占める
8 ページ 2 行目	<p>自市町村以外にも商圈を有する 17 市及び <u>25</u> 町村について、それぞれの商圈人口と吸引人口の増減率から商圈の変動状況を分析すると、次のパターンに分類できる。</p> <p>なお、前回調査と比較して、分析状況に大きな変化はないものの、縮小商圈は前回よりもやや増加し、全体の約<u>6割</u>を占める結果となった。</p>	<p>自市町村以外にも商圈を有する 17 市及び <u>20</u> 町村について、それぞれの商圈人口と吸引人口の増減率から商圈の変動状況を分析すると、次のパターンに分類できる。</p> <p>なお、前回調査と比較して、分析状況に大きな変化はないものの、縮小商圈は前回よりもやや増加し、全体の約<u>8割</u>を占める結果となった。</p>
8 ページ 15 行目	I 『成長商圈』: <u>3 市町村（△7）</u> <u>旧更埴市（千曲市）</u>	I 『成長商圈』: <u>2 町村（△8）</u> <u><削除></u>
8 ページ 22 行目	IV 『縮小商圈』: <u>28 市町村（+13）</u>	IV 『縮小商圈』: <u>29 市町村（+14）</u>
8 ページ 25 行目	茅野市、塩尻市（合併前）、佐久市（合併前）	茅野市、塩尻市（合併前）、 <u>旧更埴市（千曲市）</u> 、佐久市（合併前）
9 ページ 図 3	商圈変動の類型（17 市）における旧更埴市（千曲市）の座標：吸引人口増減率 <u>34.1%</u> 、商圈人口増減率 <u>78.1%</u>	商圈変動の類型（17 市）における旧更埴市（千曲市）の座標：吸引人口増減率 <u>-13.7%</u> 、商圈人口増減率 <u>-5.5%</u>
10 ページ 3 行目	大桑村（46.7%）、売木村（46.3%）、南牧村（33.2%）、川上村（31.1%）の <u>6</u> 町村となる	大桑村（46.7%）、売木村（46.3%）、 <u>旧八坂村（大町市）（35.2%）</u> 、南牧村（33.2%）、川上村（31.1%）の <u>7</u> 町村となる
10 ページ 5 行目	<p>流出率が 5 % を超えるのは、<u>19</u> 町村（前回調査比 + <u>5</u>）であった。</p> <p>前回調査と比較すると、県外への流出率が増加した市町村数が <u>63</u> 市町村となり、減少した市町村数を上回っている。</p>	<p>流出率が 5 % を超えるのは、<u>22</u> 町村（前回調査比 + <u>8</u>）であった。</p> <p>前回調査と比較すると、県外への流出率が増加した市町村数が <u>66</u> 市町村となり、減少した市町村数を上回っている。</p>
10 ページ 表 6	<u>5 位南牧村</u>	5 位 <u>旧八坂村（大町市）</u> のデータを追加
	<u>6 位川上村、7 位栄村、8 位原村</u>	<u>6 位南牧村、7 位川上村、8 位栄村、</u>
	<u>9 位王滝村</u>	<u>9 位小谷村</u> のデータを追加
	<u>10 位旧三岳村（木曽町）</u>	<u>10 位原村</u>
10 ページ	(31.2%) など <u>105</u> 市町村（前回調査比 + <u>7</u> ）である。	(31.2%) など <u>110</u> 市町村（前回調査比 + <u>10</u> ）である。

令和6年度長野県商圈調査報告書（概要） 正誤表

該当箇所	誤	正
11 行目		
10 ページ 15 行目	で <u>106</u> 市町村（前回調査比 <u>＋2</u> ）、衣料品で <u>95</u> 市町村（前回調査比 <u>＋4</u> ）、飲食料品で 6 村（前回調査比△1）であった。	で <u>111</u> 市町村（前回調査比 <u>＋7</u> ）、衣料品で <u>100</u> 市町村（前回調査比 <u>＋9</u> ）、飲食料品で 6 村（前回調査比△1）であった。
10 ページ 図 5	無店舗販売利用率階級別市町村数の棒グラフデータ：令和 6 年度 5%～10% <u>23</u> 、10%以上 <u>82</u>	無店舗販売利用率階級別市町村数の棒グラフデータ：令和 6 年度 5%～10% <u>22</u> 、10%以上 <u>88</u>
12 ページ 9 行目	とほぼ同じ回答割合となるが、「割引等のサービスがある」が <u>2.9</u> ポイント、「購入手続きが簡単」が <u>2.5</u> ポイント、「商品情報がわかりやすい」が <u>1.3</u> ポイント増加している（図 10）。	とほぼ同じ回答割合となるが、「割引等のサービスがある」が <u>2.6</u> ポイント、「購入手続きが簡単」が <u>2.2</u> ポイント、「商品情報がわかりやすい」が <u>1.1</u> ポイント増加している（図 10）。